

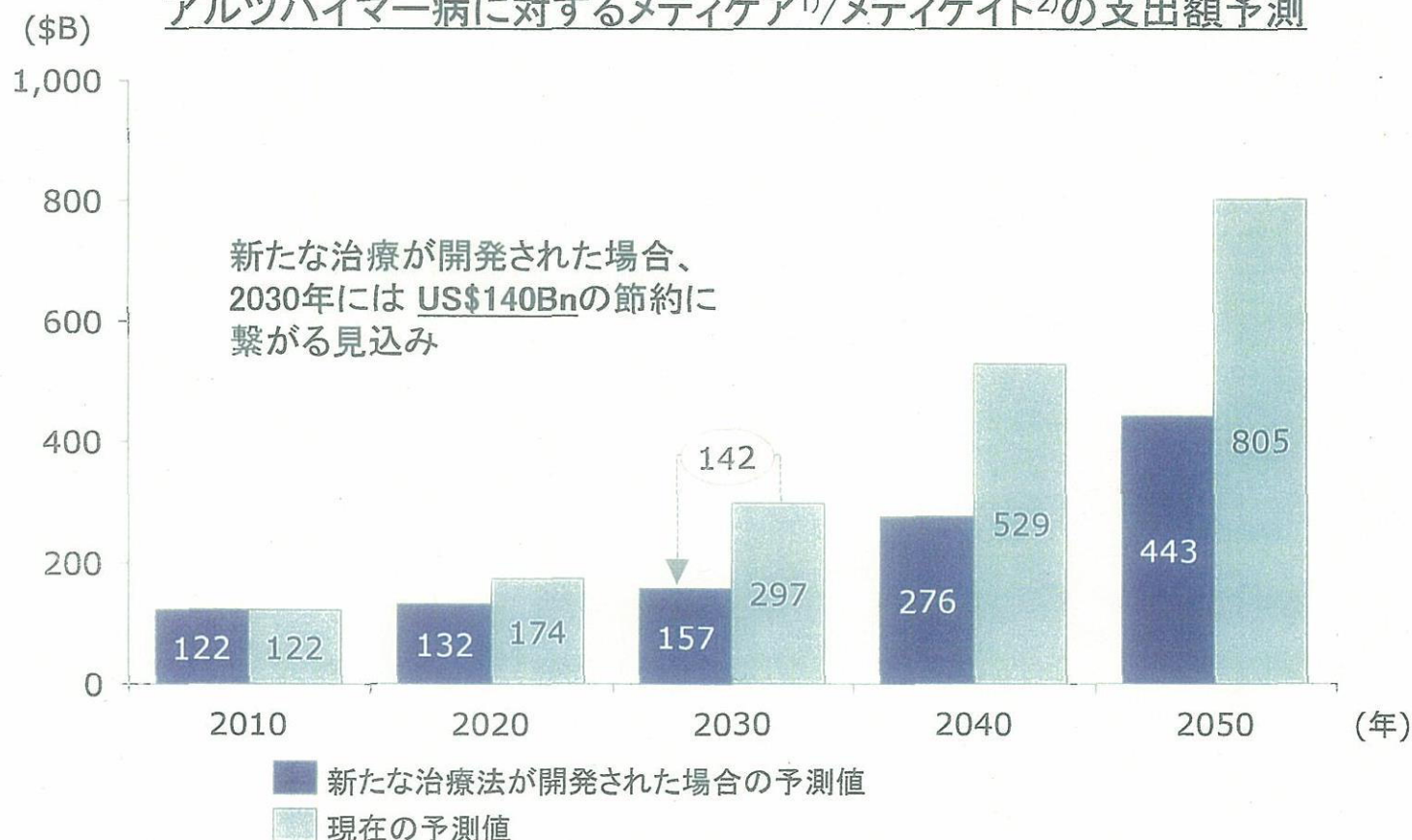
革新的な治療による医療費節減→財政収支の改善へ

事例: アルツハイマーに対する医療費

PRMA

アルツハイマー病の発症を5年遅らせる治療が開発された場合、
米国において巨額の医療費削減に繋がる

アルツハイマー病に対するメディケア¹⁾/メディケイド²⁾の支出額予測



1. 主として高齢者を対象とした米国政府による公的医療保険; 2. 主として低所得者を対象とした米国政府による公的医療保険
Source: Alzheimer's Association, "Changing the trajectory of Alzheimer's disease: A National Imperative" (2010)

イノベーションの評価のあり方

The PhRMA logo is located in the top right corner of the slide. It features the letters 'PhRMA' in a stylized, white font against a dark blue background. The 'P' and 'h' are connected, and the 'R' is slightly larger and more prominent.

- 現在、日本政府として費用対効果の導入の検討が行われている。しかし、費用対効果等の経済的評価は、医療技術評価のごく一部にすぎない。
- 医療技術の評価は、様々な治療オプションの価値を科学的、経済的、社会・倫理的側面から総合的に評価し、個々の患者が可能な限りベストな治療結果を享受できるよう最適な意思決定を行うことを目的として行われるべきもの。
- また、このような評価によって新たな治療選択肢の開発が促進され、ひいてはより質の高い医療システムの実現に資することが求められる。

HTA導入に伴って諸外国が経験した弊害 (画期的な治療オプションへのアクセスにきたした支障)



「医療技術等の評価」による主要な弊害

弊害を経験した国

アウトカム	患者による画期的な治療オプションへのアクセスが、制限又は遅延されている	
要因	a. 評価基準が十分に広範でなく、イノベーションを適切に評価できていない	
	b. 評価が、十分な根拠に基づいていない	
	c. 「医療技術等の評価」そのものに長期間を要している	

諸外国の「医療技術等の評価」は、
課題を克服するための発展途上の段階

4つの基本方針

日本での「医療技術等の評価」の仕組みをより良くするために



1 患者の様々な治療オプションへのアクセスが引き続き維持されるべき

2 治療オプションの価値の評価は適切かつ包括的に行われるべき

3 官民それぞれにおける追加的な負荷は最小限にとどめるべき

4 イノベーションが十分に評価されるべき